

令和2年度 第1回 公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会 議事概要

日時：令和2年6月10日（水）14時～16時

場所：中央合同庁舎3号館8階国際会議室

【議事概要】

（総合政策局安心生活政策課長挨拶）

（座長挨拶）

（事務局より資料に沿って説明）

（委員からの意見概要）（○：委員 →：事務局等）

1) 公共交通事業者等のソフト基準適合義務の創設等について

○ソフト基準の遵守義務と努力義務の範囲について確認したい。例えば、タクシーで言えばセダン型の従来のタクシーであれば努力義務、これから導入するUDタクシーならば義務ということか。また、新幹線で今後導入されるN700Sは義務で、現在走行しているN700は努力義務であり、N700に乗務する車掌も努力義務なのか。

→遵守義務については、平成14年5月15日の交通バリアフリー法施行以降に新設・大規模改良された旅客施設及び車両等が対象となる。タクシーの事例の場合、セダン型はハード基準の適合義務等の対象外であるため、努力義務となる。また、新幹線の事例の場合、N700系は交通バリアフリー法施行以降に導入されているため、遵守義務の対象となる。

○事業者が実施する研修について、年複数回実施すること、社会モデルを学ぶことや障害者を講師に入れることを盛り込んでいただきたい。

○聴覚障害者に対して、文字で対応するという固定観念があるのではないか。絵やコミュニケーションボードで対応するなど、柔軟的な考え方を持って欲しい。

→絵（ピクトグラム）等についても、バリアフリー整備ガイドラインやハード・ソフト取組計画の判断基準となる告示等の基準以外の様々な仕組みにおいて明確に位置づけており、今回のソフト基準と併せて周知したいと考えている。

○技術向上も必要と思われるが、周囲の騒音で音声聞きとりにくいことがある。また、文字の表示が音声内容と一致していないこともあるので、規定の中に入れていただきたい。

○ソフト基準は、ハードと組み合わせることにより、結果として平等を保障するために整備すべきではないか。ニーズに対応できるように、可能な限り最大限努力をするというスタンスとしても考える必要がある。また、事業者で実施する研修については、障害の社会モデルの考え方と当事者参加を入れないと上手くいかないと思う。

○ソフト基準の規定のイメージとして、「提供に基づいて対応すること」が趣旨だと思うため、基準としての表現については検討が必要だと考える。

○現場ではソフト基準を守ればよいという考えになりがちである。基準以外の要望、合理的配慮についても提供義務があることを位置付けるため、高齢者、障害者等に対する不当な差別的取り扱いの禁止に加え、合理的配慮の不提供の禁止についても記載すべきである。

→差別解消法にある差別的取り扱いの禁止と合理的配慮については、差別解消法の法体系の中で整理する部分と考えており、バリアフリー法における基準で求めることは法制的な整理のため、どのような整理が必要なのかも含めて今後も検討が必要と考える。

2) 新幹線の新たなバリアフリー対策について

○異常時において車内放送が分からないため、車内放送のデジタルサイネージや、車内放送の音声を自動的に文字に変えるアプリの開発、難聴者のための一部磁気ループの設置等の音声情報のバリアフリーも含めて検討していただきたい。

○1つ目は、多目的室は予約できない路線があり、また、利用が輻輳した場合を考慮し、1編成に複数作っていただきたい。2つ目は、子どもから離れないために、車掌を呼び出す装置があると助かる。3つ目は、多目的室の周囲や普通車両にも車椅子置き場を設置していただきたい。4つ目は大型の車椅子のために、ホーム上のエレベーターの大型化も要望したい。

→新幹線の多目的室は日本特有の非常に便利な設備であると考えている。また、来月から導入される N700S では授乳室を新たに設置し、利用集中の緩和を行っている。利用者の利用方法に関する問題については、具体像などを鉄道事業者とも相談する必要があると考える。

→多目的室の増設については、実態を踏まえて検討する必要があると考える。

→車椅子置き場の設置については、現在車椅子用フリースペースを検討中であるので、これに合わせて検討することもできると考える。

→エレベーターについては、基本的なサイズは基準に示しているが、大型のものを設置するよう今後も推奨してまいりたい。

○多目的室の利用については、例えば QR コードによる空き状況確認、申込み等が今の技術なら可能だと思うので検討していただきたい。

→車掌の呼出装置や QR コードによる予約等については、現状及びニーズを把握したうえで検討する必要があると考える。

○台湾では日本の新幹線が使われているにもかかわらず、優先席が作られるなど非常に快適に利用できる状況が作られており、ぜひ参考にしていきたい。

○1編成における設置数や設置箇所の分散など、コンセプトを示していただけるとよい。また、情報提供や、障害のある小さな子どもをサポートする設備も考えていただきたい。

○これからの公共交通のあり方として、量から質へ転換が必要である。車椅子用のスペースを確保した上で、大型化しているベビーカーや大型荷物を持ったインバウンドの方への対応などのユニバーサルの形でスペースをどう確保していくのか検討を進めていただきたい。

→新幹線のワーキングの中で、車椅子用フリースペースは大型ベビーカーも使用できないかと意見があった。あくまで車椅子利用を優先としたうえで、大型のベビーカーも使用できないか検討していきたい。

○車椅子フリースペースの実証実験について、実証実験結果としてのレイアウト案を示すだけでなく、レイアウト案が出た背景、要望、試験参加者の障害特性等の設計の脈絡が分かる情報を公表してほしい。

→実証試験について、スペースやコロナウイルス対策の問題もあるが、できるだけ多くの方に参加いただき意見を聴いていきたい。また、可能な範囲で情報も開示していきたい。

3) 視覚障害者のエスカレーター利用のための誘導案内方法について

○調査方法について、可能であれば、体験的・体感的な調査を実施してほしい。

○この問題は、ワーキンググループを設置しないと非常に難しい。日本歩行訓練士会の協力も得た方がよい。また、前回会議での提出意見も踏まえ、議論の積み上げをしてほしい。

○視覚障害者の歩き方をよくご存じの方に、ワーキンググループに参画いただくこと、実際の歩き方について検討することが重要。また、視覚障害者のエスカレーター利用について、交通事業者、行政職員等も含め誤って認識されている状況があり、ガイドラインに客観的な記述をすることに加えて、効果的な啓発方法についても別途検討が必要。さらに、点検等のイレギュラーな運転をする時の誤進入防止対策、そのための作業員への周知徹底といった安全確保の話にも及ぶと思慮する。

○障害者団体のヒアリング調査については、特にロービジョンの単独歩行者を中心に実施していただきたい。

○現場での対応又は本格的な検討が必要であるとともに、配置等の現状を整理することが今後の記録として重要。

○敷設方法等が具体的に示されていないことが敷設が進まない理由の1つではあるが、それ以外

の理由も把握しなければ、整備は進まないと考える。事業者に対するアンケート調査では、敷設方法等の具体的な問題に加え、敷設を躊躇する理由についても調べることが重要。

4) 優先席の適正利用について

- 席やスペースを譲ってもらうことについて、駅員が声をかけてくれると良い。
- 優先席等の空席の状況について、アナウンスで空いている席があったら促す、周知をする、案内をするといったことを盛り込んでほしい。
- 優先席の利用者が障害者に気がつかない場合も考えられるため、駅員だけではなく、一般の乗客に啓蒙活動をしていくことも必要と考える。

5) その他

- 教育啓発特定事業について、高齢者・障害者等の移動の保証という観点からのセミナーなどを開いていただきたい。
- 心のバリアフリーについて、UD2020 行動計画の定義に準拠していただきたい。

→心のバリアフリーに関する、UD2020 行動計画に掲げている点については、バリアフリー法との関連付けとして、同法の基本方針において、同計画において整理されている旨を明記する予定。
- 教育啓発特定事業として、学習指導要領における UD2020 行動計画の記載を精査し連携していただきたい。
- 心のバリアフリーについて、学校教育との連携として大学生などの高等教育からも推進することが重要と考える。
- 車椅子利用者用駐車施設について、普及推進ではなく制度化してほしい。8県で利用証制度を導入しておらず、全く先に進んでいない。
- 地方のノンステップバスの普及もそうだが、リフトカーの導入もお願いしたい。
- コロナの影響で、これまでと違う誘導の方法が出てくるのではないかと考えている。こうした今後の対策の考え方をまとめることも必要なのではないか。
- 国民に向けた広報啓発の取組促進の一つである学校教育との連携について、コロナの影響によりバリアフリーに関する授業の優先順位が低くなっているのではないかと感じる。オリンピックに向けて進めてきた心のバリアフリーなどの啓発事業が下火になってしまう恐れがあり、こ

れをどう推進していくのが課題。

→障害者参加の研修等については、接遇ガイドラインと接遇研修モデルプログラムを作成しており、ハード・ソフト取組計画による、当該ガイドライン等を活用した研修が計画的にできる仕組みと合わせて考えていきたい。

以上